

介護はリハビリで
9割変わる

身に迫る介護問題にどう対処していくべきか

人ごとではない「介護問題」

〈第1回〉

9月に、年々深刻化する介護問題を解消する「リハビリ介護」についての本『介護で会社を辞める前に読む本』を上梓された、リハコンテンツ社長の山下哲司さん。全国に140ヶ所デイサービス施設を運営、介護問題に詳しい山下さんに、介護の現状について伺います。

——「介護で会社を辞める前に読む本」を出版された。反応はいかがですか

おかげさまで、「希望が持てました」「知らなかったことばかり、役に立ちます」といった感想をいただいています。

——「介護問題」、働き盛りの人たちにとても深刻になってきていますか

2015年6月末の時点で、日本で「要介護認定」を受けている「要介護者」は、

約612万人。働きながら介護をしている「兼業介護者」も300万人に達する勢いです。毎年、約10万人の方々が、実際、介護を理由に仕事を辞めている。「介護地獄」が始まったとも言われています。

——「介護地獄」、恐ろしい言葉ですね

両親や、自分の親と配偶者の親とを見る「W介護」、親の介護のために結婚できない人たち、働き盛りの親に代わって祖父母の面倒を見ていて、進学や就職ができない若者など、想像以上に介護の実態は深刻です。

——「介護問題」の大きな課題とは

「要介護者」が年々増え、国の医療費が増大していること。そういう背景もあり、病气や怪我で倒れて入院しても、3ヶ月ほどで退院させられるケースが多い。ただし、通院で受けられるリハビリは、1回たった20分。十分な治療やリハビリを受けられず、ますます介護が必要な状態に陥る。そんな悪循環が起って

いるんです。しかし、適切なリハビリを続けることさえ出来れば、介護が必要な状態を改善していくことが出来ます。そのための方法論も確立しているのです。残念なのは、その情報をほとんどの方がご存知ないことです。

——この本を読むと、そのあたりの事情がよくわかる

はい。介護は、突然やってきます。脳梗塞や心臓発作で倒れたり、転倒して骨折したり、誰にでも起こりうる。そこで初めて慌てて、入院や介護保険について調べていては遅い。デイサービスとデイケアの違いをご存知の方も少ないでしょう。この二つ、名前は似ていても内容は似て非なるもの。「介護保険」は本当に分かりづらい制度なので、専門家に任せきりにせず、自分でも知識を持っておく必要があると思います。

——今からしっかり勉強して、不測の事態に備えることが重要ですね

この本には、「介護認定」を受けるまで、「介護保険サービス」の種類、施設を選ぶポイントなど、情報が詰まっています。参考にいただければと思います。もちろん、リハビリについても詳しく説明させていただいています。次回は



リハコンテンツ株式会社
代表取締役 山下 哲司
リハビリ型デイサービス『リハプライド』FC本部を主宰するリハコンテンツ株式会社の代表取締役。2010年9月に同デイサービスを開業。2015年11月現在で全国に145店舗のチェーン体制まで拡大している。

「要介護者」にとってリハビリがどれだけ重要かについて、お話ししたいと思います。

